

第4章

効果検証

Summary

「4.1.平成 23 年度実施調査の概要」…3 年間の普及啓発の効果を評価するとともに入浴習慣や入浴に関する意識を探るため、当保健所管内を対象にアンケート調査を実施した。

「4.2.安全よいふろ住民調査の実施」…3 年間の普及啓発の効果を評価するとともに、入浴習慣や入浴に関する意識を探るため県内全域及び岩手県、福井県を対象とした「安全よいふろ住民調査」を実施した。

「4.3.安全よいふろ住民調査の結果(概況)」…入浴事故の予防法を知っている人の方が、知らない人より予防法を実践している。マスメディアは普及啓発手段として効果的。研修会・講話などを聞いた人や救命救急士は予防法を実践している割合が高い。

「4.4.考察」…調査結果より、入浴事故の実態や予防法についてまだ住民に浸透していないところがあるので、継続的にマスメディアも活用した普及啓発を行っていく必要がある。実践に結びつけるためには、実践を主眼とした講習会を行っていく必要がある。

4.1. 平成 23 年度実施調査の概要

庄内地域の入浴事故に関する認知度を調査し、普及啓発による効果を検証するとともに、入浴習慣や入浴に関する意識を探り、今後の普及啓発の基礎資料として活用することを目的に実施した。【図 26】

<実施概要>

| | |
|--------|--|
| 調査実施主体 | 庄内保健所 |
| 調査方法 | 健康講座等の開始前や各種イベント等の機会を捉え、アンケートを実施 |
| 調査対象 | 庄内保健所管内のアンケート回答者 539 人 ※ただし、20 代以上を調査対象者とした |
| 調査期間 | 平成 24 年 1 月～3 月の 3 ヶ月 |
| 調査内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 アンケート参加者の基礎データ・入浴習慣 <ul style="list-style-type: none"> ・年齢・性別・職業・家族構成 ・入浴・シャワーのみの回数、お湯の設定温度、脱衣所・浴室の暖房の有無 温泉施設の利用頻度 2 入浴事故の実態認知 <ul style="list-style-type: none"> 「交通事故死より多い」「冬の時期に多い」「自宅で多い」「高齢者に多い」 「病気を持っていない人も発生している」についての認知 3 入浴事故の予防法の認知 <ul style="list-style-type: none"> 「脱衣所・浴室を暖める」「浴槽の温度は 41℃以下」「半身浴」 「入浴時は家族に声掛けをする」「家族が入浴中は声掛けをする」の予防法の認知 4 どこから情報を得たか <ul style="list-style-type: none"> 広報、リーフレット、ポスター、研修会、イベント、ホームページ、テレビ、新聞、口コミ 5 入浴事故予防法で実践していること <ul style="list-style-type: none"> 「脱衣所・浴室暖める」「浴槽の設定温度」「半身浴」「声掛け」の実践 |

入浴事故のアンケートにお答えください



1 あなたのことを教えてください。(あてはまる番号に○や数字を書いて下さい)

| | | | |
|-------------------------------|--|-------|-----|
| ①年齢 | 歳 | ②性別 | 男・女 |
| ③職業 | 1 無職 2 農業 3 漁業 4 商業 5 会社員 6 公務員 7 学生 8 主婦 9 医療職 10 介護職 11 その他 () | | |
| ④家族構成 | (本人を含む) | 名 | |
| ⑤同居している高齢者(65歳以上の方)はいらっしゃいますか | 1 はい | 2 いいえ | |

2 入浴習慣について教えてください。

| | |
|------------------|---|
| ⑥1週間の入浴回数 | 1 毎日 2 一日おき 3 1~3回 4 その他 () |
| ⑦1週間のシャワーのみの頻度 | 1 毎日 2 一日おき 3 1~3回 4 なし 5 その他 () |
| ⑧浴槽の湯温の一定の温度設定 | 1 設定できる () 度 ・ 設定できない |
| ⑨脱衣所又は浴室の暖房器具の有無 | 1 ある 2 ない |
| ⑩温泉施設の利用の頻度 | 1 毎日 2 週1回以上 3 月1回以上 4 半年に1回以上 5 年1回以上 6 年1回以下 |

3 入浴事故の実態について知っているものすべてに○印をつけてください。

| | | |
|---------------|-----------------------|---------------|
| (1) 交通事故死より多い | (2) 高齢者に多い | (3) 自宅での発生が多い |
| (4) 冬の時期に多い | (5) 病気を持っていない人も発生している | (6) 知らない |

4 入浴事故を予防するための方法について知っているものすべてに○印をつけてください。

| | |
|----------------------|-----------------------|
| (1) 冬は脱衣所・浴室を暖めてから入る | (2) 浴槽のお湯の温度は41℃以下がよい |
| (3) 半身浴をする | (4) 家族に声がけをしてから入る |
| (5) 家族が入浴中は声がけをする | (6) 知らない |

5 上記3・4で(1)~(5)に○印をつけた方にお尋ねします。あなたは入浴事故の実態や予防法についてどこから情報を得ましたか？(該当する項目すべてに○)

| | |
|------------------------|---|
| (1) 市町村発行の広報紙 | (2) 入浴事故予防リーフレット(庄内保健所発行) |
| (3) ポスター(庄内保健所発行) | ⇒どこで？<医療機関/介護施設/温泉施設/観光施設/公民館/その他 () > |
| (4) 研修会・講話など | ⇒誰から？<保健所 / 市町 / 消防署 / その他 () > |
| (5) イベント(庄内地域の健康まつりなど) | (6) 県や庄内保健所のホームページや関連サイト |
| (7) テレビ・ラジオニュースや番組 | (8) 新聞記事 |
| (9) 友人・知人・家族などからの口コミ | (10) その他(自由回答) () |
| (11) わからない | |

6 入浴事故を予防するため実践していることはありますか？(該当する項目すべてに○印)

| | |
|----------------------|--------------------|
| (1) 冬は脱衣所・浴室を暖めてから入る | (2) 浴槽のお湯の温度は41℃以下 |
| (3) 半身浴をする | (4) 家族に声がけをしてから入る |
| (5) 家族が入浴中は声がけをする | (6) その他 () |
| (7) 特にしていない | |

御協力ありがとうございました。入浴事故対策について御意見がございましたら御記入下さい。

図26 平成23年度アンケート調査票

<結果>

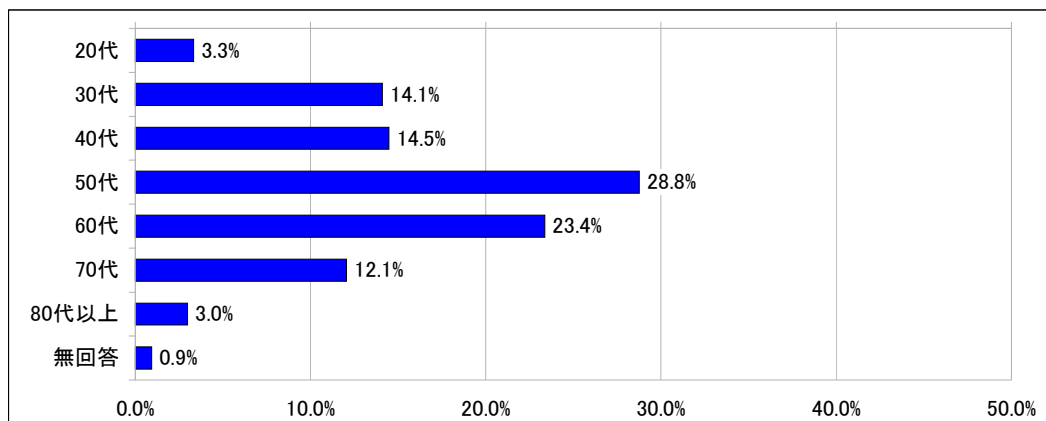
※合計が 100.0%でないものは、小数点第 2 位以下四捨五入の丸め誤差によるものである。

1. 基礎データ

①年齢

n = 539

| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代以上 | 無回答 |
|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 人数 | 18 | 76 | 78 | 155 | 126 | 65 | 16 | 5 |
| % | 3.3% | 14.1% | 14.5% | 28.8% | 23.4% | 12.1% | 3.0% | 0.9% |

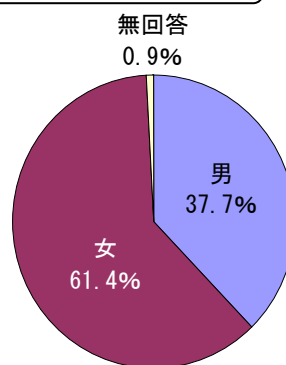


回答者は 50 代が 28.8%と最も多く、次いで 60 代、40 代の順

②性別

n = 539

| | 男 | 女 | 無回答 |
|----|-------|-------|------|
| 人数 | 203 | 331 | 5 |
| % | 37.7% | 61.4% | 0.9% |

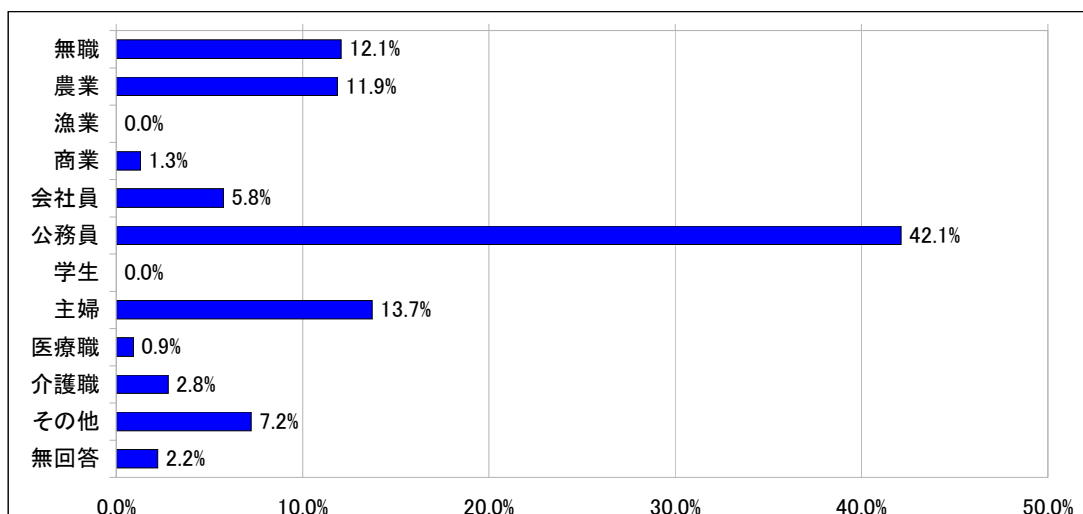


回答者は女性が 6 割を占めた。

③職業

n = 539

| | 無職 | 農業 | 漁業 | 商業 | 会社員 | 公務員 | 学生 | 主婦 | 医療職 | 介護職 | その他 | 無回答 |
|----|-------|-------|------|------|------|-------|------|-------|------|------|------|------|
| 人数 | 65 | 64 | 0 | 7 | 31 | 227 | 0 | 74 | 5 | 15 | 39 | 12 |
| % | 12.1% | 11.9% | 0.0% | 1.3% | 5.8% | 42.1% | 0.0% | 13.7% | 0.9% | 2.8% | 7.2% | 2.2% |

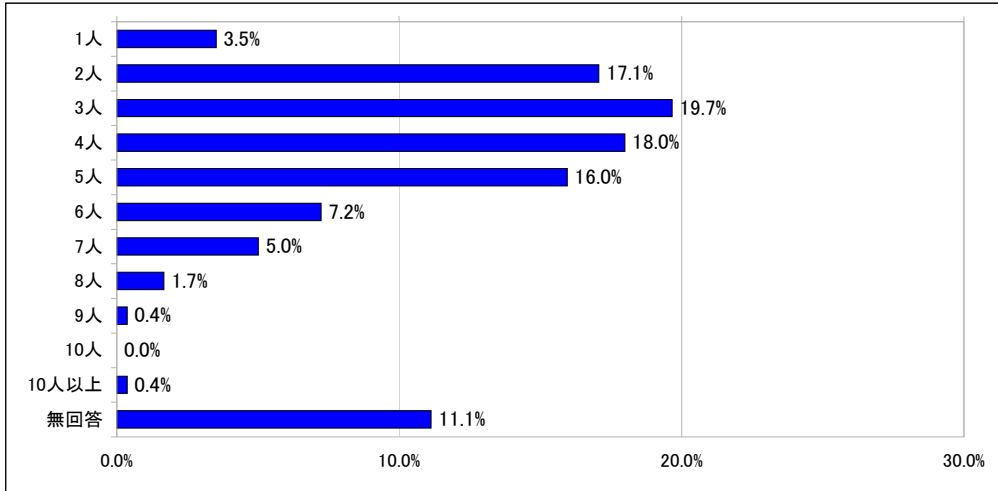


回答者は公務員が最も多く、次いで主婦、無職の順

④ 家族構成

n = 539

| | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | 6人 | 7人 | 8人 | 9人 | 10人 | 10人以上 | 無回答 |
|----|------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|-------|-------|
| 人数 | 19 | 92 | 106 | 97 | 86 | 39 | 27 | 9 | 2 | 0 | 2 | 60 |
| % | 3.5% | 17.1% | 19.7% | 18.0% | 16.0% | 7.2% | 5.0% | 1.7% | 0.4% | 0.0% | 0.4% | 11.1% |



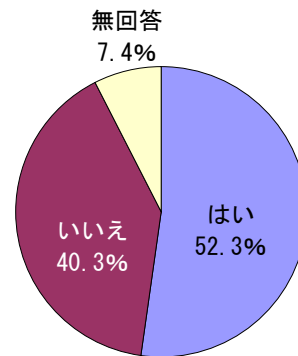
3人世帯が19.7%と最も多く、次いで4人世帯、2人世帯の順。

⑤ 同居している高齢者(65歳以上)

n = 539

| | はい | いいえ | 無回答 |
|----|-------|-------|------|
| 人数 | 282 | 217 | 40 |
| % | 52.3% | 40.3% | 7.4% |

高齢者との同居が過半数

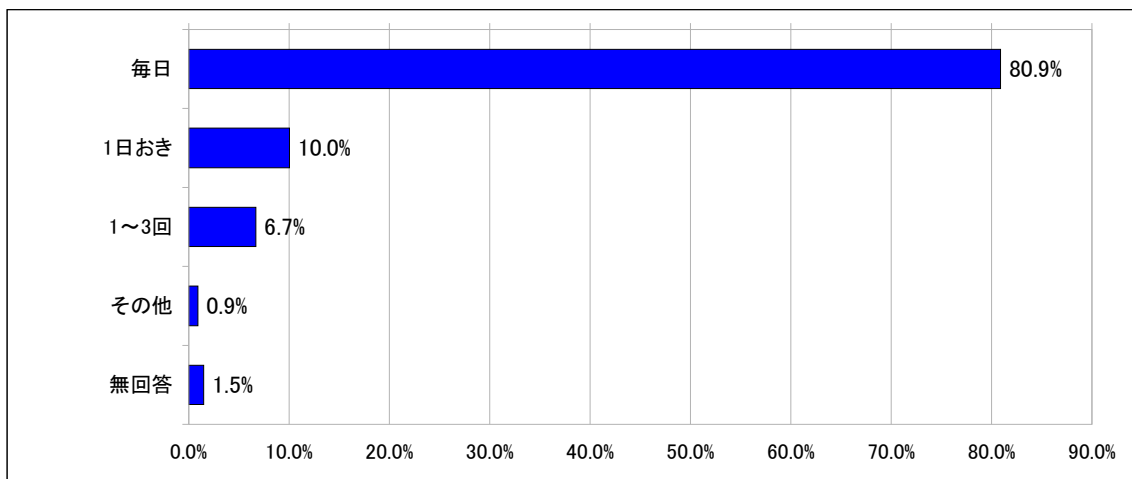


2. 入浴習慣について

⑥ 1週間の入浴回数

n = 539

| | 毎日 | 1日おき | 1~3回 | その他 | 無回答 |
|----|-------|-------|------|------|------|
| 人数 | 436 | 54 | 36 | 5 | 8 |
| % | 80.9% | 10.0% | 6.7% | 0.9% | 1.5% |

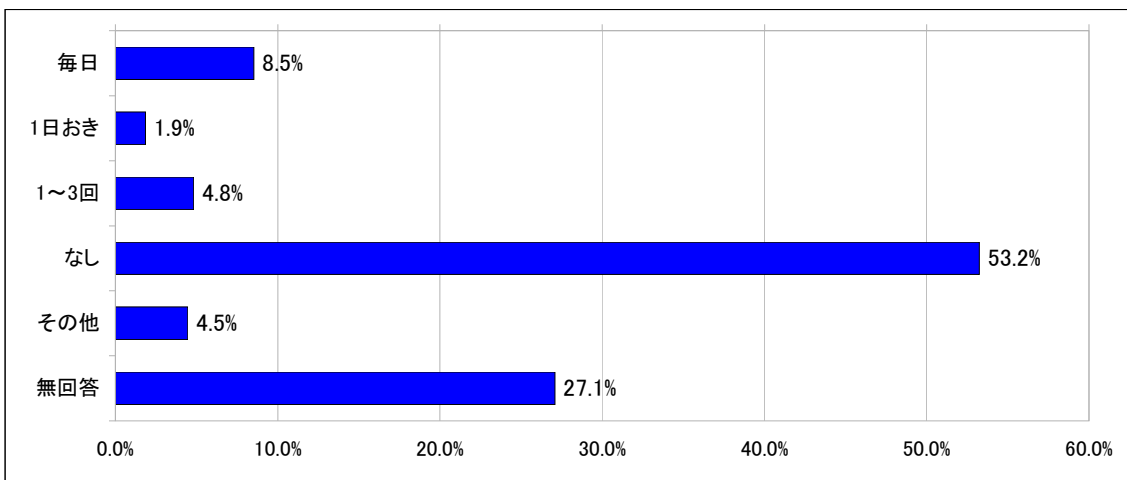


毎日入るといふ人が、全体の8割を占めた。

⑦1週間のシャワーのみの頻度

n = 539

| | 毎日 | 1日おき | 1~3回 | なし | その他 | 無回答 |
|----|------|------|------|-------|------|-------|
| 人数 | 46 | 10 | 26 | 287 | 24 | 146 |
| % | 8.5% | 1.9% | 4.8% | 53.2% | 4.5% | 27.1% |

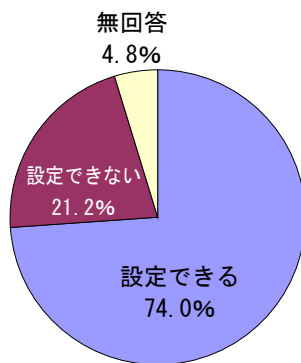


シャワーのみの入浴は「なし」という人が、過半数で最も多かった。

⑧浴槽の湯温の一定の温度設定

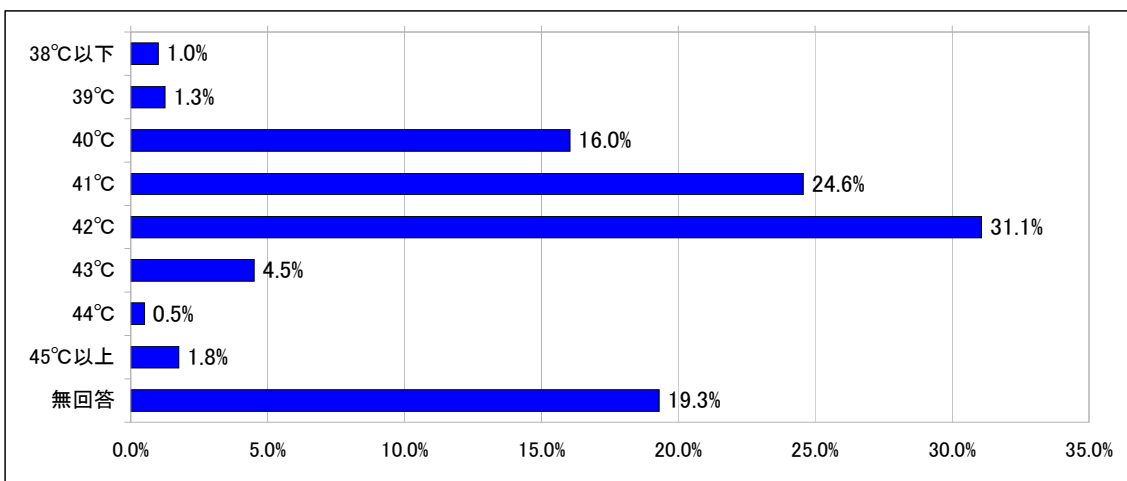
n = 539

| | 設定できる | 設定できない | 無回答 |
|----|-------|--------|------|
| 人数 | 399 | 114 | 26 |
| % | 74.0% | 21.2% | 4.8% |



n = 399

| | 38℃以下 | 39℃ | 40℃ | 41℃ | 42℃ | 43℃ | 44℃ | 45℃以上 | 無回答 | 合計 |
|----|-------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|--------|
| 人数 | 4 | 5 | 64 | 98 | 124 | 18 | 2 | 7 | 77 | 399 |
| % | 1.0% | 1.3% | 16.0% | 24.6% | 31.1% | 4.5% | 0.5% | 1.8% | 19.3% | 100.0% |

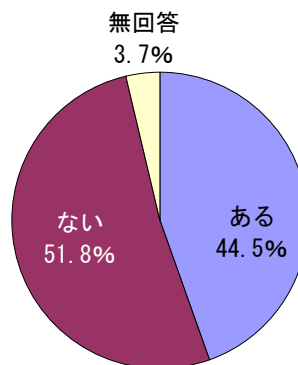


「温度設定できる」は4人に3人の割合で、その設定温度は42℃が最も多く31.1%であった。ただし、41℃以下の設定が42.9%で、42℃以上の37.8%を上回った。

⑨ 脱衣所又は浴室に暖房器具はあるか

n = 539

| | ある | ない | 無回答 |
|----|-------|-------|------|
| 人数 | 240 | 279 | 20 |
| % | 44.5% | 51.8% | 3.7% |

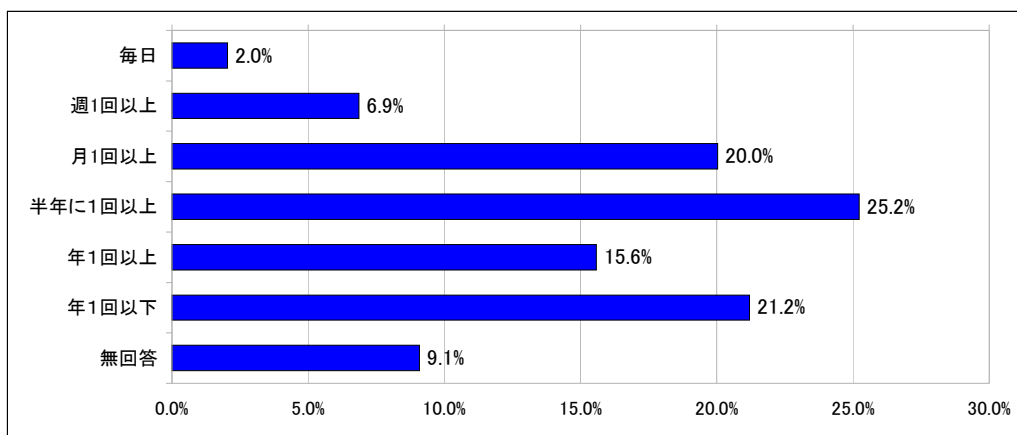


脱衣所又は浴室に暖房器具が「ある」は半数に満たず、「ない」より少なかった。

⑩ 温泉施設の利用の頻度

n = 539

| | 毎日 | 週1回以上 | 月1回以上 | 半年に1回以上 | 年1回以上 | 年1回以下 | 無回答 |
|----|------|-------|-------|---------|-------|-------|------|
| 人数 | 11 | 37 | 108 | 136 | 84 | 114 | 49 |
| % | 2.0% | 6.9% | 20.0% | 25.2% | 15.6% | 21.2% | 9.1% |

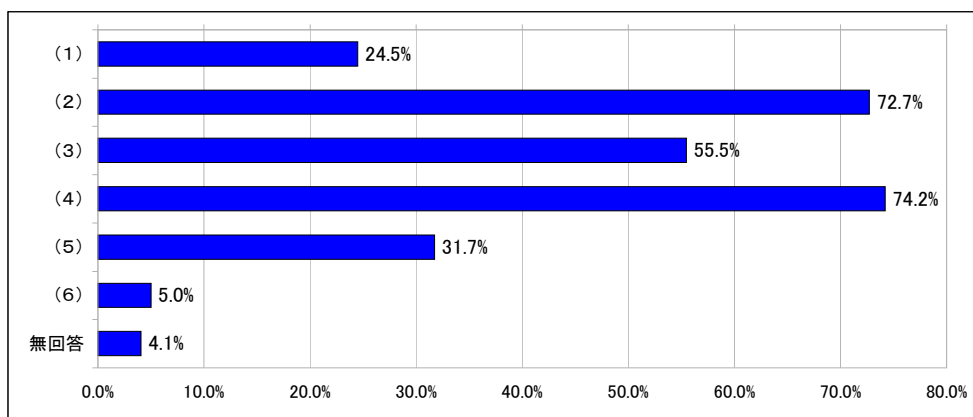


半年に1回以上が4人に一人と最も多く、次いで年1回以下、月1回以上の順の利用頻度

3. 入浴事故の実態の認知 (複数回答)

3 入浴事故の実態について知っているものすべてに○印をつけてください。

- (1) 交通事故死より多い (n=132) (2) 高齢者に多い (n=392) (3) 自宅での発生が多い (n=299)
 (4) 冬の時期に多い (n=400) (5) 病気を持っていない人も発生している (n=171)
 (6) 知らない (n=27) ※無回答 (n=22)

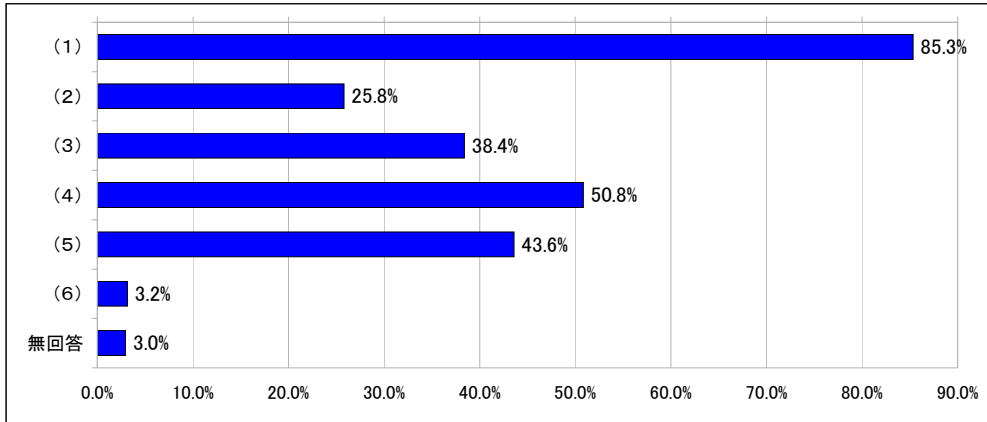


入浴事故が「冬の時期に多い」を知っているが74.2%と最も多く、次いで「高齢者に多い」、「自宅での発生が多い」の順

4. 入浴事故の予防法の認知（複数回答）

4 入浴事故を予防するための方法について知っているものすべてに○印をつけてください。

- (1) 冬は脱衣所・浴室を暖めてから入る (n=460) (2) 浴槽のお湯の温度は41℃以下がよい (n=139)
 (3) 半身浴をする (n=207) (4) 家族に声がけをしてから入る (n=274)
 (5) 家族が入浴中は声がけをする (n=235) (6) 知らない (n=17) ※無回答 (n=16)

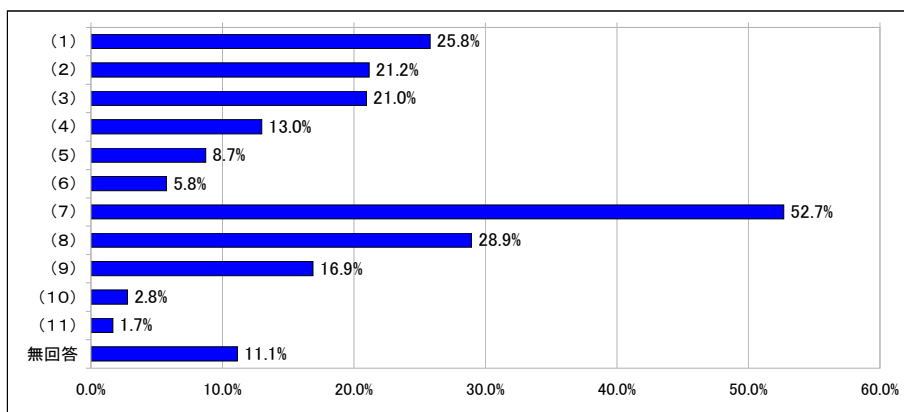


予防法については、「冬は脱衣所・浴室を暖めてから入る」(85.3%)が最も多く、次いで「家族に声掛けしてから入る」(50.8%)、「家族が入浴中は声がけをする」(43.6%)の順

5. 情報入手先（複数回答）

5 上記3・4で(1)～(5)に○印をつけた方にお尋ねします。あなたは入浴事故の実態や予防法についてどこから情報を得ましたか？(該当する項目すべてに○)

- (1) 市町村発行の広報紙 (n=139)
 (2) 入浴事故予防リーフレット(庄内保健所発行) (n=114)
 (3) ポスター(庄内保健所発行) (n=113)
 ⇒どこで?<医療機関/介護施設/温泉施設/観光施設/公民館/その他()>
 (4) 研修会・講話など (n=70)
 ⇒誰から?<保健所 / 市町 / 消防署 / その他()>
 (5) イベント(庄内地域の健康まつりなど) (n=47)
 (6) 県や庄内保健所のホームページや関連サイト (n=31)
 (7) テレビ・ラジオニュースや番組 (n=284)
 (8) 新聞記事 (n=156)
 (9) 友人・知人・家族などからの口コミ (n=91)
 (10) その他(自由回答) (n=15)
 (11) わからない (n=9)
 ※ 無回答 (n=60)

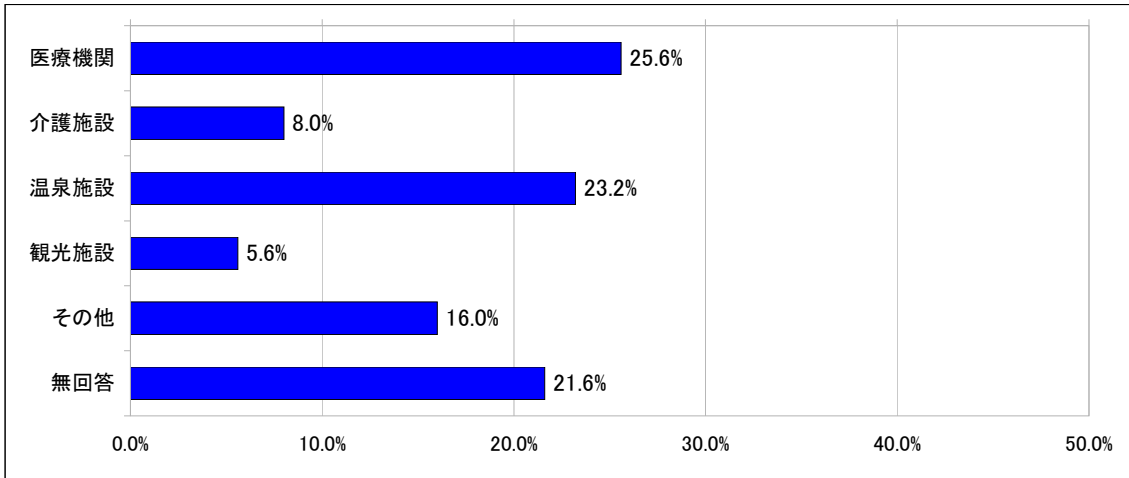


情報の入手先は、「テレビ・ラジオニュースや番組」が52.7%と最も多く、次いで「新聞記事」が28.9%、「市町村発行の広報誌」が25.8%であった。

5. ポスターをどこで見ましたか？（複数回答）

n=113

| | 医療機関 | 介護施設 | 温泉施設 | 観光施設 | その他 | 無回答 |
|----|-------|------|-------|------|-------|-------|
| 人数 | 32 | 10 | 29 | 7 | 20 | 27 |
| % | 25.6% | 8.0% | 23.2% | 5.6% | 16.0% | 21.6% |

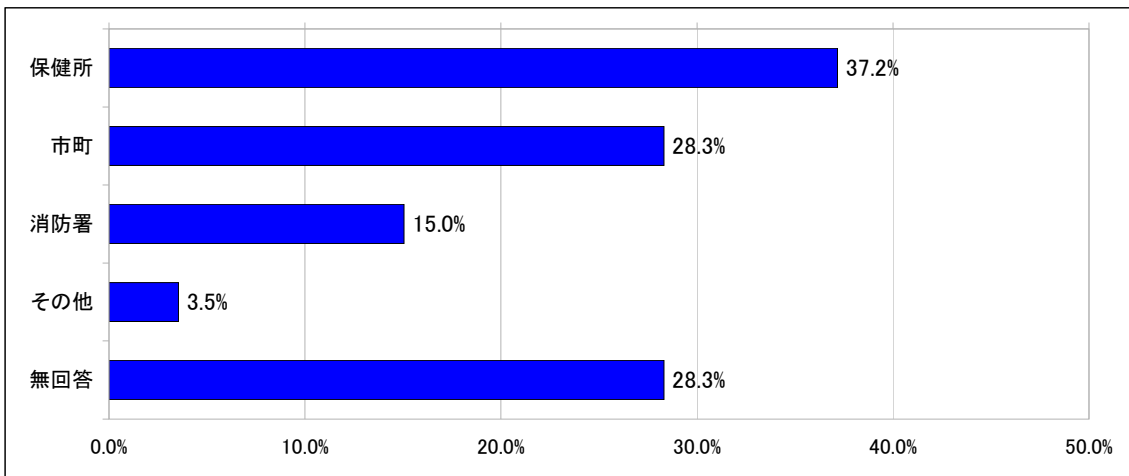


医療機関で見たという人が最も多く、次いで温泉施設であった。

5. 入浴事故の実態や予防法を誰から聞きましたか？（複数回答）

n=70

| | 保健所 | 市町 | 消防署 | その他 | 無回答 |
|----|-------|-------|-------|------|-------|
| 人数 | 42 | 32 | 17 | 4 | 32 |
| % | 37.2% | 28.3% | 15.0% | 3.5% | 28.3% |



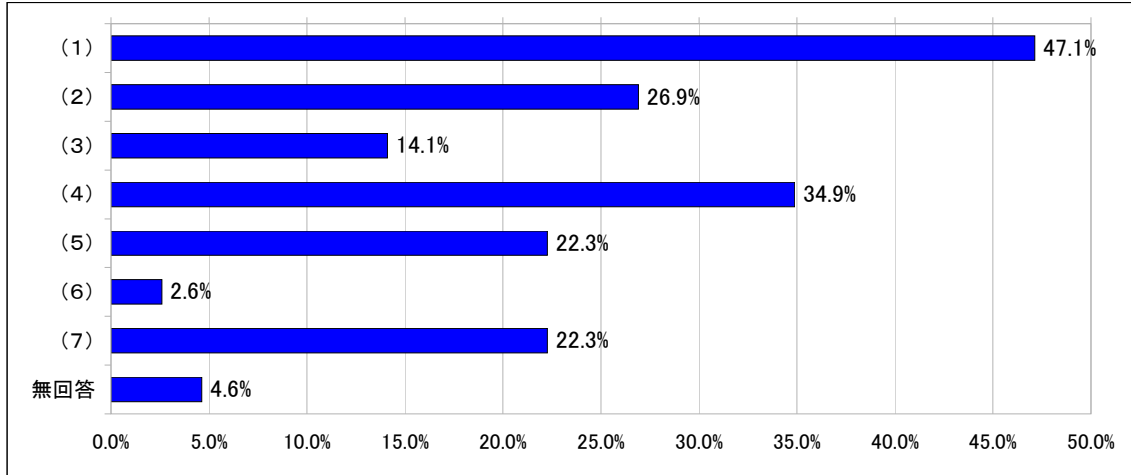
保健所職員から聞いたという回答が 37.2%と最も多く、次いで市町職員、消防署職員の順

6. 入浴事故予防の実践（複数回答）

6 入浴事故を予防するため実践していることはありますか？（該当する項目すべてに○印）

n=539

| | |
|------------------------------|----------------------------|
| (1) 冬は脱衣所・浴室を暖めてから入る (n=254) | (2) 浴槽のお湯の温度は41℃以下 (n=145) |
| (3) 半身浴をする (n=76) | (4) 家族に声がけをしてから入る (n=188) |
| (5) 家族が入浴中は声がけをする (n=120) | (6) その他 () (n=14) |
| (7) 特にしていない (n=120) | ※ 無回答 (n=25) |



予防の実践では、「冬は脱衣所・浴室を暖めてから入る」（47.1%）が最も多く、次いで「家族に声がけをしてから入る」、「浴槽のお湯の温度は41℃以下」の順

4.2. 安全よいふる住民調査の実施

入浴事故の認知度、入浴習慣や入浴に関する意識を探ることで、これまでの啓発効果を評価し、今後の事業の基礎資料として活用することを目的に「安全よいふる住民調査」を実施した。調査対象地域を庄内地域から県内全域に広げ、岩手県、福井県からも協力を得た。

詳細は「安全よいふる住民調査報告書」参照

<実施概要>

| | |
|--------|---|
| 調査実施主体 | 庄内保健所 |
| 調査協力機関 | 村山保健所、最上保健所、置賜保健所、岩手県中部保健所、お風呂ネットふくい（福井のお風呂と健康を考える会） |
| 調査方法 | 健康講座等の開始前、各種イベントの機会などを捉えアンケート調査を実施 |
| 調査対象 | 県内4保健所（庄内、村山、最上、置賜）、岩手県中部地区、福井県嶺北地区のアンケート回答者2,923人 |
| 調査期間 | 平成24年10月～平成25年3月までの6ヶ月 |
| 調査内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 アンケート参加者の基礎データ・入浴習慣 <ul style="list-style-type: none"> ・年齢・性別・職業・家族構成 ・入浴・シャワーのみの回数、浴槽の設定温度、脱衣所・浴室の暖房、温泉施設の利用頻度 2 入浴事故の実態認知 <ul style="list-style-type: none"> 「交通事故死より多い」「冬の時期に多い」「自宅で多い」「高齢者に多い」「病気を持っていない人も発生している」についての認知 3 入浴事故の予防法の認知 <ul style="list-style-type: none"> 「脱衣所・浴室を暖める」「浴槽の温度は41℃以下」「半身浴」「入浴時は家族に声かけをする」「家族が入浴中は声かけをする」の予防法 4 どこから情報を得たか <ul style="list-style-type: none"> 広報、リーフレット、ポスター、研修会、イベント、ホームページ、テレビ、新聞、口コミ 5 入浴事故予防法で実践していること <ul style="list-style-type: none"> 「脱衣所・浴室暖める」「浴槽の設定温度」「半身浴」「声掛け」の実践 |

4.3. 安全よいふる住民調査の結果（概況）

調査の結果、以下のようなことが分かった。

- ・お風呂のお湯の温度設定は42℃が一番多く、次いで41℃、40℃の順で多かった。41℃以下に設定している人は2人に1人の割合であった。
- ・脱衣所・浴室に暖房機がある人は半数未満であった。
- ・入浴事故の予防法を知っている人のうち7割は実践しているが、予防法を知らない人は8割の人が実践していないことが分かった。
- ・テレビ・ラジオから入浴事故の実態や予防法を知った人は対象者全体の約5割、新聞記事で知った人は3割、ポスターや市町村の広報誌で知った人も多かった。つまり、マスメディアは普及啓発手段として効果的だと分かった。

- ・研修会や講話を聞いた人で予防法を実践している人は8割、聞いていない人のうち予防法を実践している人は6割だった。
- ・救命救急士は「家族に声がけしてから入る」は4割、それ以外の人たちは3割で、「家族が入浴中は声がけをする」はそれぞれ4割、2割だった。

4.4. 考察

入浴事故の予防法を知っていると実践に結びつくことが分かった。更に研修会・講話等を聞くことで、より予防法の実践に結びつきやすくなることや、事故を目の当たりにする救命救急士は他の職種より入浴行動に変化が現れることから、実践に結びつけるためには実践を主眼とした講習会を行っていく必要があると考えられる。

また、日常的に目にするテレビやラジオ等のマスメディアは情報発信をするのに有用だったので、継続的な普及啓発を行う際に積極的に活用していくべきだと分かった。